

まなびの広場
稲進会
教室通信

彩色いろいろ

ブレインジャーシリーズ第2弾 『ブレインジャーの事件日記』発刊！！

「お待たせいたしました！」(待っていた人はいたのでしょうか??)と勝手に言っておりますが、第1弾からはや数ヶ月、もう少し早く形にするはずでしたが、なかなか予定通りいかずようやくお披露目できるようになりました。今回は、『推理算』を集めたテキストです。このテキストを解くことによる効果は……。算数の点数が飛躍的に上がったり、偏差値が急激に上昇、ということにはならないでしょう。ですが、掲載された問題を楽しく取り組めるような人は、その後、算数そして数学が得意科目となる確率はかなり高いと言えます。

＜算数(数学)が得意な人の共通点＞

- ・計算が速く、正確にできること
 - ・文章題を読み解く理解力、論理力を持っていること
 - ・図形の特徴を認識する力が高いこと
- など。



上記のことももちろん大切です。点数を取るということには、あらゆる条件が揃う必要があります。ですが、素養として考えた場合、より大切なことがあります。

それは、「問題を見た瞬間“ウワッ”と声をあげてしまうくらい難しそうに見える問題に対して、とりあえず鉛筆を握り作業を始められる力」です。

『ちえの輪』という遊びを考えてみます。めちゃくちゃやってもどうにかすれば輪は外れるように出来ている、その前提で成り立っている遊びです。仮にどうやっても外れないならば、誰も取り外そうとはしないでしょう。

算数(数学)の問題も必ず解答があります。どんなに難しく見えようとも「なんとかすれば必ず解答に辿り着ける」、この感覚が身につけていることが、算数(数学)を得意科目とするためには欠かせません。

今回のテキストは、難しい計算や公式を知らなくても解ける問題です。ですが、見た瞬間解答が分かるかというところではない問題です。結構な長文の問題もあります。どれも、ごちゃごちゃ書き出してみるでもいいですし、絵にして整理する、表にしてみるでもいいです。何かしらの作業をし続ければ、答え(=犯人)は見つかります。楽しみながら、時に悩みながらも、「なんとかすれば解答に辿り着ける」この感覚を身につけてもらえればと思っています。

奥松

＜テキスト配布のご案内＞

まなびの広場・稲進会に在籍されている方でテキストをご希望の場合は無償でお渡しいたします。テキスト内容は、小学3年生程度～となっておりますが、難易度順に編集してありますので、年齢が低いお子さんは、最初の方だけ挑戦してみるということも可能です。また、お子さんの年齢が対象外の保護者の方には、ぜひ保護者の皆様自身に取り組んでいただければとも思っています。算数(数学)の学習に必要なことのヒントが見えてくることと思います。

教室の風景

耐えた先にチャンス！

先日、中国古典研究家の守谷淳さんのインタビュー記事を読みました。中国史の春秋時代に生きた武将・孫武が書いたといわれる戦略書『孫子』についてのものでした。

『孫子』の真髓に“戦上手は、絶対不敗の態勢におき、しかも敵の隙は逃さずとらえるのだ”とあるそうです。たとえ勝てない状況でも、耐え忍べば、チャンスがいつか巡ってくる。勝つことのみを考えるのではなく、チャンスが来た時に、すかさず勝利できるよう、どうやって耐え忍ぶかを考えるのだそうです。

レゴのレッスンでも、失敗が続いて「もうだめえ」と諦めてしまいそうな子がいます。そんな時は、前述の『孫子』のように、子どもに耐え忍んでもらうしかないのかもしれません。ただ相手はまだ幼い子ども、そこは先生が励ましたり、ヒントを出したり、倒れそうな背中を支えてあげなくてはならないと思います。いっぱい失敗して悩んで、それでも諦めずに耐えること。それが大きな経験となって、やがて、激動の時代に負けない大人に育ってくれるのだと思います。



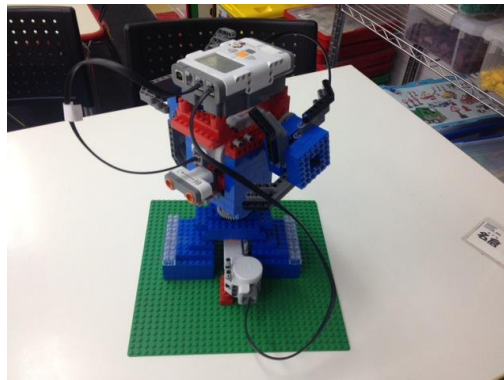
インストラクター 伊勢豊

今月の作品紹介



“幼稚園送迎バス”

たくさんのお友達を乗せて幼稚園へGO。運転手さんのハンドルもついています。



“扇風機”

羽根が両方向についていて、360度涼しくしてくれます。人を感知するセンサーもついていてエコを心がけています。

☆申込み受付中！！☆

まなびの広場

稲進会

夏の短期ワークショップ

夏期集中学習